

WS-8

1 コマからできる授業設計—インストラクショナル・デザインを用いて—

日時：2026 年 6 月 7 日（日） 9：00 ～ 12：00

企画：石原慎（藤田医科大学）、浅田義和（自治医科大学）、万代康弘（東京慈恵会医科大学）、村岡千種（藤田医科大学）

対象

現在授業を担当している、または、これから授業を担当する医療職を対象とした。

概要

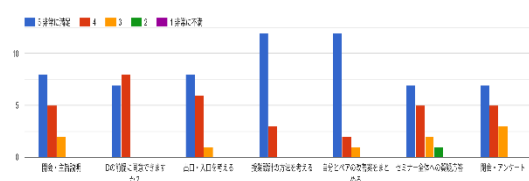
このワークショップ（WS）では、参加者がこれから行う、または行ってきた教育事例を、より良いものに改善し、次回の教育の場で実践できること、学習活動の効果・効率・魅力を高めるインストラクショナルデザイン（Instructional Design：ID）等の学習理論を各自の持ち寄った教育事例を改善する過程で学ぶことを目的に行った。今回は授業の入口（誰に何を教えようとしているか）、出口（アウトカムと合致した確認となっているか）、学習方略について ID の入門編として開催した。

報告概略

自身が行っている、または、これから行うとしているワークシートの作成と ID の前提問題を行うことを事前学修として必須とし、WS への参加条件とした。事前学修は、教育工学会の FD 研修ワークブックを配布し、これを学修しながら事前学修を行うこととした。参加者 15 名、全員が WS 前日までに事前学修を修了した。当日は、ID に基づいた構成で WS を行った。「ID の前提に同意できますか？」のセッションでは、3～4 名がグ

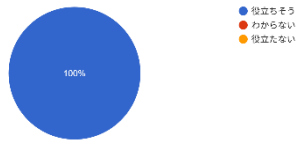
ループとなり、各問題について意見交換を行った。その後、各グループが疑問に思う点を講師に質問する時間とした。これ以降はペアワークとし、「出口・入口を考える」、「授業設計の方法を考える」、「自分とペアの改善案を考える」を行い、自分たちで自らの学修を促進した。修了後のアンケート結果を提示する。

WS内容について5段階で評価をして下さい

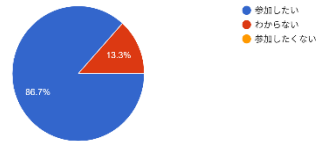


5 が非常に満足、1 が非常に不満の 5 段階評価で行った。平均値は、開会・主旨説明 4.4、ID の前提に同意できますか 4.5、出口・入口を考える 4.5、授業設計の方法を考える 4.8、自分とペアの改善案を考える 4.7、セミナー全体への質疑応答 4.3 であり、全体的に高い評価であったが、セミナー全体への質疑応答は不満の参加者がおり、質問しやすい雰囲気など工夫が必要と考えられた。今後の授業設計に役立ちそうかとの質問には、参加者全員が役立ちそうと答えていた。

今後の授業設計の見直しや立案に役立ちそうですか？
15 件の回答



ARCSモデルやガニユエの9教授事象など、IDの...内容を含めた授業設計の講習に参加したいですか？
15 件の回答



今回は、ID の入門編の位置づけで開催したが、今後アドバンス編への参加の希望を尋ねたところ、15 名中 13 名が参加したいとの回答であった。

今後は授業設計のアドバンス編や研修設計の入門編など開催したいと考えている。

スケジュール

6 月 7 日（日）	
9:00	開会・主旨説明
9:10	ID の前提に同意できますか？
9:50	出口・入口を考える
10:30	休憩
10:40	授業設計の方法を考える
11:20	自分とペアの改善案をまとめる
11:45	セミナー全体への質疑応答
11:55	閉会・アンケート